

|| 発達とともに生ずる問題行動 ||

幼児の問題行動

をふりかえる

鈴木 正子

乱暴な幼児

五月×日 早いものだ。もう入園して一カ月あまり、入園当初にくらべると何とみちがえるように生き生きとしたこの頃の子どもたちだろう。一カ月あまりで殆んどの子どもたちが、一応幼稚園の生活に馴れてくれたことは本当によい。ただ幼児たちが馴れるにつれて毎年のことながら乱暴な行動がふえてきた。中でもA夫の乱暴ぶりはたいへんだ。

・ 何もしない女児に水道の水をひっかける。

・ スキップの時足を出して友だちの邪魔をする、友だちがころぶとよろこぶ

・ ちっとも落ち着かないで、いつもおしゃべりをしている。

話の先まわりをする

・ ハンを歩きながら食べる

それはめまぐるしいばかりである

それにつれて弱い者は泣き、勇氣あるものはやりかえし、他の幼児たちが動揺する。そのにぎやかさに、いさかながら持っていたつもり幼児教育の自信のほど、見事ひっくりかえる想いである。早速家庭ともこまかい連絡をとろう。そして一口も早く正常な状態にしなければいけない。

五月×日 母親と話合いの結果、大体次のようなA夫をとりまく環境の様子がわかる。父母共かせぎ、留守は頼まれたおばさんがA夫と弟をあずかっている。日常はあわただしい生活でゆっくり子どもと親がふれ合う時間がない。知識面ではいろいろと教えているらしいが、生活にむずびついていないので、それが、からまわりしている、など。そこで私はどちらかと言うと理智的な感じのするおかあさんに、こんなふうに話してみた。「Aちゃんはおかあさんに、もっと甘えて可愛がってもらいた

う。遊具の取りっこや、遊びにまぜない、などというのが近頃のけんかの主な原因。けんかの裁き方も、子どもの成長につれ、だんだんに変えて、この頃では、「みんなで考えてみる」という形もとっています。

例 A 「先生、Bちゃんはブランコかきないよ。」

T 「もひとつのブランコは？」

A 「Oちゃんのがのってるよ。」

T 「もひとつは？」

A 「みんなのってる。」(みんなを集めて聞く)

T 「どうしたらいいかしら、ブランコのかずより、乗りたい子がいっぱいです。」

C 「かわるがわるのればいいんだよ。」

E 「百かぞえたら、かわればいいんだよ。」

T 「どう？ そうする？」

みんな 「うん、いいよ。」

百かぞえることに決まり、これで仲良く解決しました。

御覧のように子どもたちは、けんかをしながらも成長しているのです。

ですから子どもたちのけんかをさうとまずにしっかりと見守って指導してあげましょう。

これは年長組になったばかりのある日の、幼稚園だよりの一部分であるが、幼児はほんとうによくけんかをする。

けんかは決して好ましいことではないけれど、幼児たちはけんかをする度に、自己中心的なものの方から脱皮して成長していく。また正しいことを正しと判断できるつよい力が養われくる。だから、ひとつひとつのけんかもおろそかにできない毎日である。

先ずけんかの取り扱いに一番大切なこと、それは、けんかの原因を正しくみきわめる、教師の眼ではないだろうか。

子どものけんかは、ただ表面をみただけでは、何が原因なのか、どちらが良いのか悪いのかわからないことが多い。もし、うっかり反対に判断したならば、幼児のやわらかい心をきずつけることになる。それから自分が悪いと気づいたら、素直に認めて「ごめんなさい」ができる子どもにしたいものである。また何時までも、こだわっている子どもに対しては、明日にいきかきを持ちこすことなく、けんかしたものの同志が仲良く手をつないで帰るようにさせたいものである。また年齢差による取り扱いの工夫だが、年少組時代にはまた判断力もとほしいので、教師が相当能動的にさばいて、ことの善し悪しを指導してもよいような気がする。

そして成長するにつれ、時にはみんなの問題として取り上げて

群大附属幼稚園調査 [けんかの原因]

	年少			年長		
	一学期	二学期	三学期	一学期	二学期	三学期
物や場所のとりっこ	15	6	3	3	6	7
きまりや約束を守らないのを注意する	4	5	3	5	5	3
思いがち	6	16	5	5	11	5
遊びにまぜない	6	29	10	1	1	
邪魔をする	6	9	8		2	1
ふぎけすぎる	1	12	2	4	4	5
意地悪をいう	3	8	3	1	10	1
一しょに帰らない	1				1	1
ないしょ話				1		
人の失敗を笑う				1		
責任転嫁				1		
しかえしをする(以前のけんか)		2		1		
人がぶつといたたのでぶつ		1		2		
けんかのすげだち		1				
▼そをいう		1				
意見のくいちがい						2
勝負に負ける						1
ぶつ	26	11				
押す	9	4				
うばう	6	2	2			
つつく	6	1				
ひっぱる	5	2	1			
かくす	5	1				
つばをかける	3		1			
ひっかく	3					
水をかける	3		1			
砂や石を投げる	2	2	1			
ふみつける	2					
はなをつまむ	1					
さわる	1	1				
つねる	1	3				
ける		2				
不明	3	4				
計	118	123	40	25	40	26

(調査期間 昭和34年4月～35年3月)
(調査人員 年長児70名 年少児70名)

話し合ったり考えたりする機会をもつのはどんなものだろうか。

また特にけんかの多い幼児については、乱暴な幼児の場合のよ

うに、その子自身をほりさげてみることも大切であるとおもう。

乱暴な幼児は、かならずと言っていくらいけんかが多い。年

少組時代のけんかなどは、ほとんどの原因が乱暴な幼児の衝動的

な行動によることが多いものである。

次の表は、私共の園でしたけんかの調査であるが、けんかひと

つ取り上げてみても、幼児たちは常に変化し成長しているもので

ある。殊に、年少組と年長組のけんかの数と、内容の変化をみて

いただけたらとおもいあげてみた。

(群馬大学付属幼稚園)